

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成27年2月13日

**【四半期会計期間】** 第66期第3四半期(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

**【会社名】** 株式会社フジマック

**【英訳名】** FUJIMAK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 熊谷 俊範

**【本店の所在の場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岡部 伸二

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岡部 伸二

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	24,754,488	22,962,817	36,276,605
経常利益 (千円)	992,023	480,187	2,114,530
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	493,776	74,584	1,146,590
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	708,203	223,151	1,313,098
純資産額 (千円)	11,368,114	12,045,101	11,972,988
総資産額 (千円)	26,288,489	27,794,043	29,026,473
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( ) (円)	75.34	11.38	174.96
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	43.2	43.3	41.2

回次	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日	自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.29	4.76

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、第2四半期連結会計期間において株式会社ネオシス(連結子会社)のベトナム国現地法人であるNEOSYS VIETNAM CO.,LTD.が生産、販売を開始し重要性が増したことに伴い、同社を連結子会社にしております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更があった事項は以下のとおりであります。

当社グループは、第2四半期連結会計期間において、東京都家具厚生年金基金解散に伴う損失見込額2億5千7百万円を厚生年金基金解散損失引当金として計上したことにより、前事業年度の有価証券報告書に記載した「(8) 厚生年金基金加入によるリスク」は消滅しております。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府及び日銀による経済・金融政策を背景に、一部では企業業績向上や雇用情勢改善の動きなど、国内経済の回復の兆しが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化する等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社では精力的に営業活動を展開しましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は229億6千2百万円（前年同期比7.2%減）となりました。利益面につきましては、売上高が伸び悩んだこと等から、経常利益は4億8千万円（前年同期比51.6%減）となり、第2四半期連結会計期間に厚生年金基金解散損失引当金繰入額を計上したこと等から四半期純損失が7千4百万円（前年同四半期は純利益4億9千3百万円）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり単一のセグメントであります。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態については、総資産は現預金や有形固定資産の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比12億3千2百万円減の277億9千4百万円となりました。負債については、長期借入金の増加、仕入債務や未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末比13億4百万円減の157億4千8百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比7千2百万円増の120億4千5百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億8千万円であります。  
なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりであります。

a 新設

連結子会社である株式会社ネオシスにおいて、第65期に引続き福岡工場の増改築を実施しております。これは、老朽化建物の更新並びに製造部門の合理化、効率化を目的としたものであり、平成27年2月に竣工の予定であります。なお、投資総額は解体工事費用を除き、約9億9千万円を見込んでおります。

b 除却

当第3四半期連結会計期間において、解体2期工事費用として3千2百万円を計上しております。

c その他

連結子会社である株式会社ネオシスにおいて、第67期に本社工場の生産設備を福岡工場に移管する予定であります。

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,600	65,516	
単元未満株式	普通株式 2,000		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,516	

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,400		582,400	8.16
計		582,400		582,400	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,384,459	7,788,977
受取手形及び売掛金	9,202,056	3 5,403,762
商品及び製品	2,046,177	2,354,084
仕掛品	113,486	87,242
原材料及び貯蔵品	1,349,140	1,174,861
その他	1,095,173	928,396
貸倒引当金	9,217	7,516
流動資産合計	20,181,276	17,729,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,872,937	3,826,717
減価償却累計額	1,921,084	1,873,201
建物及び構築物(純額)	951,853	1,953,515
機械装置及び運搬具	3,471,868	4,027,453
減価償却累計額	2,622,638	2,816,932
機械装置及び運搬具(純額)	849,230	1,210,521
土地	3,457,566	3,454,001
その他	1,627,728	1,642,227
減価償却累計額	1,258,457	1,303,960
その他(純額)	369,270	338,266
有形固定資産合計	5,627,921	6,956,305
無形固定資産	66,120	100,543
投資その他の資産		
投資有価証券	1,113,275	1,324,185
その他	2,132,272	1,776,720
貸倒引当金	94,394	93,519
投資その他の資産合計	3,151,154	3,007,386
固定資産合計	8,845,196	10,064,235
資産合計	29,026,473	27,794,043



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	9,868,790	3 8,202,483
1年内返済予定の長期借入金	675,071	674,852
未払法人税等	484,806	66,161
賞与引当金	434,106	167,993
役員賞与引当金	20,720	17,740
製品保証引当金	86,600	79,300
その他	1,571,094	1,969,094
流動負債合計	13,141,189	11,177,624
<b>固定負債</b>		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,369,918	1,679,113
役員退職慰労引当金	350,486	15,733
厚生年金基金解散損失引当金	-	257,827
退職給付に係る負債	172,371	152,565
その他	1,019,519	1,466,076
固定負債合計	3,912,295	4,571,316
負債合計	17,053,484	15,748,941
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	7,825,626	7,598,812
自己株式	441,320	441,339
株主資本合計	10,003,822	9,776,989
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	251,613	381,809
土地再評価差額金	1,593,721	1,594,931
為替換算調整勘定	123,831	291,371
その他の包括利益累計額合計	1,969,166	2,268,112
純資産合計	11,972,988	12,045,101
負債純資産合計	29,026,473	27,794,043

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,754,488	22,962,817
売上原価	17,303,705	15,733,592
売上総利益	7,450,782	7,229,225
販売費及び一般管理費	6,535,382	6,855,081
営業利益	915,400	374,144
営業外収益		
受取利息	4,455	2,696
受取配当金	13,035	14,152
受取手数料	38,292	34,753
受取賃貸料	21,844	27,232
為替差益	394	52,403
その他	43,380	17,347
営業外収益合計	121,403	148,585
営業外費用		
支払利息	28,613	34,040
その他	16,166	8,500
営業外費用合計	44,779	42,541
経常利益	992,023	480,187
特別利益		
固定資産売却益	1,528	2,069
投資有価証券売却益	-	485
会員権売却益	-	1,898
特別利益合計	1,528	4,452
特別損失		
固定資産除却損	42,974	44,859
投資有価証券評価損	2,565	3,413
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	257,827
その他	394	41
特別損失合計	45,934	306,142
税金等調整前四半期純利益	947,617	178,496
法人税、住民税及び事業税	272,830	142,610
法人税等調整額	181,009	110,470
法人税等合計	453,840	253,081
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	493,776	74,584
四半期純利益又は四半期純損失( )	493,776	74,584

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	493,776	74,584
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	102,380	130,195
為替換算調整勘定	112,046	167,540
その他の包括利益合計	214,426	297,736
四半期包括利益	708,203	223,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,203	223,151
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日至平成26年12月31日)	
連結の範囲の重要な変更	
第2四半期連結会計期間より生産、販売を開始し、重要性が増したNEOSYS VIETNAM CO.,LTD.を連結の範囲に含めております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

保証債務

次のとおり金融機関からの借入金等に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	
福喜瑪克貿易(上海)有限公司	135,212千円	福喜瑪克貿易(上海)有限公司	103,887千円
計	135,212千円	計	103,887千円

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	610千円	415千円
輸出割引手形	千円	10,008千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	千円	34,597千円
支払手形及び買掛金	"	783,565"

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
減価償却費	367,889千円	450,517千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	104,857	16	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	131,071	20	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	75円34銭	11円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	493,776	74,584
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	493,776	74,584
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,584	6,553,548

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 2月12日

株式会社フジマック  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高 橋 正 伸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年10月1日から平成26年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。